

## 平成 30 年度(2018 年度)第 5 回三者懇談会（吹田市立吹田保育園）

- 1 開催日時 平成 30 年 9 月 1 日(土) 午前 10 時～午前 11 時 55 分
- 2 開催場所 吹田保育園 遊戯室
- 3 出席者 吹田保育園保護者会長 2 名、その他保護者 8 名  
社会福祉法人こばと会（こばと会理事長、こばと会事務局長、こばと保育園長、その他合同保育参加保育士 3 名）  
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室主任、吹田保育園長、吹田保育園長代理、吹田保育園保育士、吹田保育園看護師）
- 4 議題
  - 1 連絡帳・給食の取扱いについて
  - 2 合同保育の状況等について
  - 3 質疑応答
- 5 議事要旨

### 1 開会

吹田市： ただいまから第 5 回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

### 2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様について御紹介させていただきます。

（出席者紹介）

吹田市： こばと会から移管後の職員の確保状況などについて御報告をいただきます。

こばと会： 吹田保育園で勤務されているパート・アルバイト職員の方に対して、雇用条件を含めた説明を行い、現在は 8 名のパート職員の方の履歴書をお預かりしております。その他の方も継続勤務の意思があるとお聞きしておりますので、その方たちの履歴書を提出いただいた後に、個別面談をさせていただく予定です。面談後、働き方などを含めて継続勤務の同意をいただければ、雇用契約を締結したいと考えてお

ります。

アルバイト職員のうち、4名の方からこぼと会の正規職員として働きたいというお言葉をいただきました。その方たちには採用試験を受けていただき、合格ということであれば正規職員として配置させていただくつもりです。まだ迷われている方もおられると思いますので、積極的に継続勤務のお願いをしていきたいと考えています。

また、4月から学生さんに向けて採用活動を行っています。現時点で5、6名の方に採用試験を受けていただいていますし、昨日も1名の方から応募をいただきました。今後も、地元の大学の就職担当者と連絡しながら保育士の確保に努めていきます。新規採用の学生さんに関しては、吹田保育園だけではなく、他の保育所にも配置を考えています。

栄養士については、現在、病院で勤務されている方を御紹介いただき、吹田保育園での勤務で内定を出しています。看護師については求人を出しながら対応しており、お話を続けている方がおられます。職員確保に関しても努力しておりますので、御理解をいただければありがたいです。

### 3 連絡帳・給食の取扱いについて

吹田市： 前回の三者懇談会の中で、移管後の連絡帳をどのようにしていくかが議論となりました。また、いただいた御質問の中でお誕生日会のケーキ、いわゆる給食の行事食の取扱いについて保護者の関心が高かったので、保護者会でアンケートを実施したとお伺いしております。アンケートの結果を踏まえた保護者会の御意見をお伝えいただきたいと思います。

会 長： 三者懇談会の内容について、保護者の声を提出していただくこと、アンケートを実施しました。98世帯のうち、58世帯から御回答をいただくことができました。内容については、連絡帳と給食の献立をどうするか選択してもらう形式にしており、この場では結果だけお伝えします。

連絡帳については、現在のファイル形式を続けてほしいという意見が多かったので、そのようにしていただきたいです。また、給食の献立については、こぼと会の統一献立の回答が一番多かったですが、市の給食のままがいいという意見も多くありました。その理由については別の欄に記載しており、お誕生日会の時に出している冷凍ケーキを続けてほしいとのことでした。

ただ、こばと会の資料を園に置いていただいております、それを見ると様々な形で手作りおやつを提供していただいているのが分かります。こばと会は手作りおやつを含めて、給食の提供に大変こだわっておられますので、その点はとてもありがたいと思っています。

#### 4 合同保育の状況等について

吹田市： 本日も吹田保育園で合同保育を行っている河村保育士と宮城保育士、美濃保育士に御参加いただいております。前回の三者懇談会の際にもお話をさせていただきましたが、3か月ほど経過しましたので、新たに気づいたことや、現在感じておられることなどをお話しいただきたいと思います。

こばと会（河村）： 現在は園の行事に参加し、行事終了後に園長先生とお話をしながら園長業務を引き継いでいます。地域の関わりとして、長生会や近隣の幼稚園、竹の子ネット（地域教育協議会）のことなどをお聞きしながら、行事を開催する際の近隣への配慮のことなども話し合っています。

先日の夏祭りの後に保護者の方が太鼓を返しに来られて、色々とお話をする機会がありました。民営化する4月以降に支えていただくのは保護者の方だと思い、頼りにしていますので、これからたくさんの保護者の方と顔見知りになっていきたいと思っています。

こばと会（宮城）： 私はこの夏に1歳児と0歳児に入り、今は5歳児クラスに入っていますので、これで全クラスの園児たちと関わることができました。園児たちと一緒に遊んだり会話をしながら理解を深めているところです。また、各クラスの先生たちにも時間をとっていただいて、1人ひとりの園児たちについて配慮することや成長の様子をお聞きしています。そういったことを整理しながら来年4月に引き継いでいきたいと思っています。

また、この1年間のことだけを知っていても過去の出来事は分かりません。これまでの内容が書かれた書類は、吹田市の公文書ということもあっていただくことができませんので、園の中で時間を取りながら確認していきたいと思っています。

プール参観や運動会などの行事を通じて、保護者の方とお子さんの顔がようやく一致してきました。これからの半年間の保育の中で、保護者の方ともう少しお話しをしながら信頼関係を築いていきたいと思っています。

こばと会（美濃）： 私からは運動会やプール参観、夏まつりや一泊保育といった行事関係をどのように引継いでいくのかを中心にお話させていただきます。多くの行事は実行委員会という形をとっていますので、その会議に参加させてもらっています。当日の具体的な流れや一人ひとりの役割、準備のことだけでなく、それぞれの行事のねらいについてもしっかりと確認しながら、来年度に引継いでいきたいと思っています。

7月には保護者の方と共催で行っている夏祭りがありました。夏祭りの実行委員会に毎回参加させてもらいながら、保護者の方との関わりを学びました。保護者の方がそれぞれの役割を持って運営されている様子や、当日の準備でちょうちんをつけたりしながら積極的に参加されている様子を見ていると、夏祭りは本当に保護者の方に支えられている行事なんだと実感しました。

行事については振り返り会議や反省会も行って、今年やって良かったことや課題だと感じたことなどを話し合っています。こういった会議にも参加させてもらって、来年度に生かしていきたいと思っています。また、会議での話合いだけでは難しいこともありますので、当日の様子を映像に残しています。道具の保管場所や使用状況を写真に撮って保存することで、1月から来る合同保育の職員にも分かりやすく伝えることができると考えています。今後も運動会などの大きな行事がありますので、丁寧に引継いでいきたいと思っています。

吹田市： 続いて、現在引継ぎ保育を行っている南保育園の状況について、引継ぎ保育を担当している元南保育園長代理からお伝えいたします。

吹田市（元南保育園長代理）： 南保育園の引継ぎ職員のうち、元園長等の役割を担っています。4月はほぼ毎日、5月からは行事の時などを中心に随時南保育園に行かせてもらっています。4月の園児の様子や保護者の方からいただいた御意見などを中心にお伝えします。

南保育園では、昨年度に1年間の合同保育を行い、今年の4月から社会福祉法人こばと会南保育園としての保育がスタートしました。3月には公立の南保育園の先生たちから、こばと会の先生たちにバトンタッチするよという意味で「バトンタッチの会」を行いました。この会では、今の先生たちは違う園に行くけれど、また大きくなったみんなに会いに来るからねといったお話などを園児たちに伝え

ました。園児たちからは「先生、どこ行くの?」、「また、来る?」といった声がありましたが、3月、4月とも不安定になることは少なかったと思います。

子供たちにはそれぞれ個性がありますので、変化がとても苦手な子供もいます。そういう子供は担任が変わったことで、例年の4月のように不安な気持ちを出すこともありましたが、引継ぎ職員や継続して勤務することになったパート・アルバイト職員が気持ちを受け止めるようにしてきました。こばと会の新しい担任の先生とも一緒に遊ぶ中で、落ち着いて安心して過ごせるようになっていったと思います。

園児の不安が少なくスタートできたのは、1年間の合同保育が大きかったと思います。合同保育では1年間2人の保育士が、1月からの3か月はさらに担任予定の5人の保育士と看護師、栄養士が毎日園児たちと遊んで生活をして、保育等を一緒にしながら引継ぎを行ってきました。一緒に楽しく遊ぶことを大事に考えてこられましたので、園児たちも合同保育で来られた先生たちのことが大好きになり、信頼関係も築いてもらえたと思います。

南保育園では、保育や行事について大事にしていることを話し合いながら伝えていくことができました。信頼関係ができた大好きな先生がいてくださることで、4月を迎えるにあたって進級児に大きな混乱がなく、スタートできたと思っています。保育の中で大事にしてきたリズムや歌や体を使っての遊びや、集団遊びなどは公立とこばと会で似た内容が多く、合同保育をしながら共感し合って、園児たちも引き続き楽しんでいると感じます。

保護者の方とこばと会の先生方は、日々お会いしていますし、1月からの面談も行いながら接する機会を多く持ってこられたので、だんだんお話をしやすくなり、保護者の方から積極的にお話されるようになりました。4月当初は「先生たちにどう相談したらいいか?」「当番保育時間の様子が今までと少し違うので、ちょっと気になります」といった御意見もいただきました。園長や保育士たちにお話をされることもありますし、私たち引継ぎ職員に言われることもあります。いただいた御意見については、毎週1回引継ぎ職員の間で引き継ぎ会議を行い、どのようにしたらいいのか一緒に考えて、やり方を見直したり改善したりすることもありました。

初めて一緒に働く先生も多い中、引継ぎ職員も参加しながら日常の保育について話し合って情報共有することを大切にしてきました。これからも園児たちの様子を丁寧に見て、保護者の御意見も伺いながら笑顔で楽しく毎日を過ごせる保育

所になることができるように、一緒に考えていきたいと思っています。

## 5 質疑応答

吹田市： 保護者の方の御質問や御意見をお伺いしたいと思います。

保護者： 民営化後に実施する運動会や生活発表会の様子は、これまでずっと関わってきた先生にも見てほしいと思います。また、子供たちが卒園してランドセルを背負った姿も見てほしいと思っています。大きな行事の時や卒園児が園を訪問する日を決めて、吹田保育園で働いていた先生たちを呼んでもらうことはできますか。

吹田保育園では地震発生時や暴風警報が出た場合には、先生たちが一人ひとり保護者に電話連絡を行っているためなかなか連絡が取れません。学童保育では、緊急時に保護者に対して一斉メール送信を行っているそうです。そういった方法について考えておられますか。

こばと会： 来年4月に吹田保育園を引継ぎましたら、私立保育所で構成される大阪府社会福祉協議会保育部会に加入する予定です。ここに加入しますと、「よい子ネット」というメール送信システムを利用することができます。保護者の方の携帯やパソコンに登録してもらえたら、園からの一斉メールを受け取ることができます。南保育園でも導入しており、全ての保護者の方に入っています。

吹田市： 吹田保育園の民営化に伴って園の正規職員は他の園に異動となります。大きな行事に必ず来ますとお約束はできませんが、移管後の吹田保育園で運動会や生活発表会があるということは情報共有させていただきます。

吹田の公立保育所でも人事異動があり、異動前の園と異動先の園の行事日程が重ならなければ、見学に来ることがあると聞いていますし、どうしても見学に来ることができない時にはメッセージを送ったりすることもあるようです。入園式や入学式の後に、大きくなったよと姿を見せに来てくれる子もいます。異動しても園児たちと気持ちは繋がっていますので、同じように対応してもらえたらいいなと思っています。

吹田保育園では、5歳児がその前年に卒園した子供たちと、「1年生との交流」をしています。この行事は担任と日程調整をしながら、来年度も実施してほしいと考えています。

保護者： 前回の三者懇談会でアレルギー会議についてお聞きしました。こばと会ではアレルギー会議がなくても大きな問題やトラブルが起こっていないとのことでしたが、親としてはアレルギー会議があることで、他の保護者の方とお話をするのができたり、園全体で見守ってくれている感じがします。アレルギー会議についてももう少し教えてください。

献立についてお伺いします。現在は卵などを使わないようなメニューが多く、献立作成の段階から配慮していただいています。こばと会の給食では、その点はどのようにされていますか。また、アレルギー対応として、現在は親と園と看護師でチェックしていますが、今後どのように対応されるのか教えてください。

こばと会： こばと会でも卵はあまり使用しないようにしています。ただ、おやつは手づくりなので卵をつなぎで使うことが多いです。アレルギーを持つお子様については卵抜きで作り、食べる席を決めています。小麦粉アレルギーを持つお子様には代わりに米粉を使ったりしています。

チェックの方法については、献立作成後に保護者の方がチェック、続いて担任、看護師、栄養士がチェックしています。アレルギーの代替食を提供する場合は、担任が給食室の前に札をぶら下げて間違いがないように対応しています。

アレルギー会議をすることで、他の保護者の方と情報交換ができるという側面は確かにあると思います。栄養士が常駐しておりますので、保護者の方が一緒にお休みを取っていただけたらアレルギー会議をすることは可能だと思います。こばと会でも持ち帰って検討いたしますし、保護者の方で御意見をまとめていただきたいと思います。貴重な御意見をありがとうございました。

保護者： 何点かお聞きします。前回の三者懇談会で提案させてもらった出向制度については何か進展があったかどうか教えてください。

今は保育士だけでなく、どこの会社でも新人の離職率の高さが問題になっています。中堅がいなくて、新人を育てる人がいない会社も多く、日本中が抱えている問題だと思います。だからこそ職員の配置についてはバランスを考えていただきたいと思っています。南保育園はすでに民営化を終えています。どのような配置を行いましたか。

次に、吹田市が策定した「吹田市公立保育所民営化実施計画」には、土地や建

物の財産について、減額、無償、助成等必要な対応を検討するとあります。実際にどのような対応をされたのでしょうか。

仮に何らかの対応をしていただいていたら、園運営のランニングコストは大分低くなると思います。そのため、通常の保育所を運営する場合よりは人件費を多くかけることができるのではないのでしょうか。人件費を多くすることで、いい人材を採用してほしいと思っています。

吹田市： 前回御提案いただいた出向制度については、市の人事担当に確認させていただきました。似たような形態としては、ガンバ大阪に1年間市の職員が行き、様々なことを学んできたという事例があるそうです。ただし、あくまで研修目的で認められた事例であり、今回のように民営化された保育所に職員が行く場合は、保育の引継ぎが目的となるため、現段階では難しいという結論でした。貴重な御提案を生かすことはできませんが、元々予定していた1年間の合同保育と1年間の引継ぎ保育を行うことで、円滑に引き継いでいきたいと思っています。

実施計画は概要のみを定めており、その後開催した選定委員会で募集要領を作成する際に、具体的な手法を決定しています。その結果、建物については無償で譲渡、土地については10年間無償で貸しつけるということになりました。現在ある吹田市の規定を適用しますと、吹田保育園では年間300万円程度の土地の賃料が発生しますが、園を引継いでいただく様々なコストを考えて10年間無償としています。

こばと会： 職員配置のバランスは難しいです。フルタイム18名の保育士集団を基本としながら誰かが辞めた場合には募集をしますが、辞めなかった場合はずっと新規の職員が入ってきません。一気にベテランが辞めたら新人が多くなってしまいます。南保育園の開園時にも苦労しました。

南保育園の新卒は、短大卒を1名、四大卒を2名採用して配置しました。1名しかいないと、同期がいなくて孤立してしまいます。吹田保育園でも2、3名は新卒職員を配置したいと思っています。今、1人内定を出している方は、吹田保育園の卒園児でした。吹田保育園は、こばと保育園やさくら保育園、さくらんぼ保育園に比べると設備面で労働環境が劣るため、勤務を希望される方が少ないのですが、この方は吹田保育園で働きたいと言ってくださいました。とてもありがたいと思っています。



ランニングコストについて申し上げますと、確かに土地は10年間無償で借りることができますし、建物や備品は無償でいただきますので、初期の開園費用はありません。ただ、建物や備品がとても古いので故障が多いです。南保育園では今も修理費用がかかっており、1年間で修繕費がどれくらいかかることになるのか見当が付きません。また、園の建替えを考えないといけませんので、運営費を一定額残しながら積み立てていく必要があります。既存の園を建替える場合には保育をしながらなので、代替地を借りて仮園舎を建てることも必要になってきます。そういったこともあって、非常にお金がかかることは御理解いただきたいです。人件費についても、パート・アルバイトさんの賃金を引き上げていますので、それほど余裕があるわけではありません。

保護者： 採用について努力されていると思いますが、万が一、予定人数の保育士を採用することができない場合には、園児の受入れ人数が減ってしまうことになるのでしょうか。

吹田市： 吹田市は私立保育所を認可する立場にあります。昨年も新園が開園しましたし、来年の春にも開園予定の園があります。どの園も開園に向けて児童福祉審議会で審議していただき、答申をいただいた後に認可を行います。これまで保育士が足りなくて開園できなかったという事例はありません。

保護者： 万が一保育士が足りない場合には、無認可保育所になってしまうということでしょうか。

吹田市： これまでにそのような事例がないので、どのような対応をすべきなのか検討する必要があります。新園の開園時には定員に満たない場合もあるので、定員よりも少ない園児の人数でスタートすることもあります。

こばと会： こばと会では職員からも人員配置を求める声があがってきます。また、こばと会の職員に対してはもちろん、様々な機会を捉えて保育士を紹介してほしいと願っています。理事長はこばと保育園の園長をしてから50年ほど保育の世界に関わってきましたので、多くの知り合いがおります。職員の確保はしっかりと行いますので、こばと会を信頼していただきたいと思っています。

保護者： 保育士の確保が難しかったり離職が多かったりして、1年間で担任が何回も変わった園があると知人から聞いたことがあります。市やこばと会のことを信用するしかないですが、しっかりと対応してほしいです。

こばと会： 職員配置をぎりぎりになると職員が疲弊しますので、こばと会では多目に職員を配置したいと考えています。こばと保育園でも市から助成金をいただいて複数のフリー保育士を配置しています。こうすることによって、園児への対応も手厚くできますし、職員の残業を減らしたり有給休暇を多く消化してもらうことができます。若い職員は出産の可能性もありますし、早目早目に職員配置を考えながら園の運営をしています。

保護者： 職員の採用試験はどのような状況ですか。保育士不足なので合格基準を下げたりすることはありますか。

こばと会： こばと会の園は公立と良く似た保育を行っていますが、私立保育所は様々な特色の保育を行っています。学生さんもどのような園で働きたいとか、どの園で保育実習をしたとか様々です。そのため、こばと会では見学をしっかりとしてもらっています。車で案内して全園を見てもらいますし、給食も一緒に食べて職員と交流してもらいます。その結果、自分が望んでいる法人ではないと判断された方は応募されず、こばと会で働きたいと思ってくれた方が応募されるので、採用段階でのミスマッチがあまり起こりません。

ただ、筆記試験の結果が良くなかったり、保護者の方とのコミュニケーションが難しいだろうと判断した場合には、実際に働いてもその学生さん自身がしんどくなると思いますので、採用を見送ることはあります。一定の基準に達していて、努力する姿勢があれば採用します。

保護者： 移管後の南保育園での当番保育時間が、これまでと少し違ったとお伺いしました。どのように違っていてどのように改善したのか聞きたいです。吹田保育園では、当番保育時間をどのように運営していくのか教えてください。

また、1月からこばと会の先生がクラスに入ってくださいと聞いています。それとは別に、当番保育を行うパートの先生を新たに雇用されるとしたら、その先

生はいつから勤務されるのか教えてください。

吹田市： 吹田保育園と同様に、南保育園では園庭で幼児の当番保育をしています。こばと会の保育所では園庭で当番保育をすることは少ないとお聞きしました。公立保育所での当番保育の時は、担任の保育士が必ずしもいるわけではありませんので、当番保育士とパートの職員で園児たちを見守りながら遊ぶということを大事にしています。その点についても引継ぎを行ってきたつもりですが、複数のクラスのたくさんの園児たちを対象に園庭で当番保育を行うということに当初は戸惑いもあったようです。

お迎えに来られた保護者の方から、全体をしっかりと見渡すことができているかという御意見をいただきましたので、死角をつくらないことや安全面で気をつけることについてあらためて確認したということです。

吹田保育園での当番保育については、合同保育に参加されている先生に当番保育の時間帯に来ていただき、引継いでいるところです。1月から来られる先生たちにも同じように対応する予定です。公立保育所でも園児状況や人数に応じて、当番保育のやり方は随時変更しています。そういった意味では、基本的なやり方は引継ぎますが、変わっていくこともあると考えています。

保護者： 今の吹田保育園では、運動会と生活発表会の開催日を平日と土曜日にしています。例えば今年は運動会が平日で生活発表会は土曜日、去年は運動会が土曜日で生活発表会が平日でした。移管後はどのように開催していくのか教えてください。また、こばと保育園の園行事と、南保育園の園行事が分かるものを見せてほしいです。

こばと会： こばと保育園の年間行事のスケジュールと、南保育園の行事のスケジュールについては、吹田保育園に置いてもらうようにします。（※現在は、園の民営化関連ファイルに入っています。）行事内容はそのまま引き継ぎますが、日程についても今のやり方を当面引き継ぎたいと思っています。ただ、保護者の方がどちらの行事も土曜日がいいなどの御意見があれば、そこは話し合いになると思います。

吹田市： 去年は運動会を土曜日にして予備日を平日にしましたが、保護者の方から予備日も土曜日にできないかという話がありました。こういった点も検討事項として

しっかりと引継いでいきます。

保護者： 土曜日に開催する場合は、小学校の運動会の日と週をずらしてほしいです。そういったことも踏まえてスケジュールを検討してもらえるとありがたいです。

こばと会： 小学校の運動会と地域の市民体育祭とは重ならないようにします。ただ、こばと保育園の運動会の日とは重なる可能性があります。ちなみに、今年はこばと保育園と南保育園の日が重なっています。

保護者： 前日も話題になった交流行事についてお聞きします。公立幼稚園とのプール交流などは移管後も継続してほしいと思っています。園児たちは小学校まで頑張っ  
て行って帰ってくることに達成感を感じますし、楽しみにしています。民営化後は公立間ではなく公私立間の話になりますが、市になんとか調整をしてもらいた  
いです。こういった提案をすることによって実現できましたという議事録が出れば、三者懇談会の参加人数も増えるかもしれませんし、開催する意味もあると思  
います。

吹田市： プール交流については、これまでの幼稚園との交流の経過もありますので、移  
管後もぜひ続けさせてほしいと吹田第三小学校にお願いに行っていました。  
校長先生と様々なお話をする中で、プールが空いている場合は移管後も使ってもら  
って構わないというお言葉をいただくことができましたので、移管後もプール  
交流を続けていくことは可能だと思います。ただ、校長先生が変わった時には、  
プールの使用許可についてあらためてお願いすることになると思います。

吹田第三幼稚園は園児数があまり多くないので、吹田保育園の園児と関わりあ  
うことで刺激を受けながら、ともに育ちあっています。同じ吹三地域ですし、保  
育幼稚園室としてもプール交流を引継いでいきたいと思っています。

## 6 閉会

吹田市： 他に御意見・御質問がないようでしたら、本日は終了時刻を過ぎておりますの  
で、これで三者懇談会を終了いたします。

次回の開催日時につきましては、こばと会や保護者会長と調整させていただきます。  
本日は御参加いただき、ありがとうございました。